

## 手作業需要取り込む 人を大切に喜ばれる企業に

株式会社 星名産業  
代表取締役

星名 照彦氏



奥様と2人の創業から28年、今では4社で550名のスタッフを抱えるホシナグループに。これまでの歩みを教えてください。

24歳で独立し、自宅でコネクタの検査などをする仕事を始めました。かつて勤めていた会社からも検査の仕事を頼まれ、それがすごく嬉しく、人とのつながりを大切にしないといけないと、誠心誠意取り組みました。そのうち、パッケージメーカーの方から相談を

受け、機械で箱を開けやすくするための手作業の工程を引き受けました。これはメーカーさんにとっても付加価値となり、以後、当社は「手が欲しい時のベストパートナー」を掲げ、自動化できない組み立て検査工程や、量産自動化前の試作で人の手が必要となる部分を請け負っています。

**グループ各社の業務内容は、**

星名産業は、車の電装部品・コネクタやプラスチック樹脂成型

品の加工、顕微鏡や拡大鏡を使った目視検査などをして袋詰めにして発送する業務が主です。

ホシナパックは、医薬品・化粧品向けパッケージの断裁やラベル貼り、添付書類の折り、検品の作業など。ホシナハイテックは、電子部品の組み立てや、自動機・治具の製造販売をしています。

クリエートスターは、元は人材派遣のホシナオフィススタッフでしたが、業務と社名を変え、新規事業開発を行っています。以上4社があります。

**自動車関連とパッケージなどの検査業務の受託割合は、**

以前は自動車・民生品関連が7割を占めていましたが、リーマンショックで受注が一気になくなりました。取引先様に駆け込むと、ちょうど薬事法改正の時期に重なり、医薬品パッケージの変更に追われていました。工場のクリーンルームを拡充して対応できたおかげで、現在ではパッケージ関係の仕事が6割を占めています。

**フレックス・フリータイム雇用を重視し、パート社員の活用に成功されています。**

「育む、生かす、人の可能性」をキャッチコピーにフレックスタイムを定着させ、やる気を出す取り組みをしています。創業した頃は、パートタイマーも6時間労働だったので、幼児のいるお母さんたちは働きたくても働くところがなかった。そこで働く時間帯も休みもすべて自分で決めてもらうことにし、「休み自由、就業時間自由、すべて全部マル」というチラシを配りました。お子さんが大きくなると必然と働く時間も長くなり、職場に定着します。現在は9時から5時30分の就業時間内で各

人の状況に合わせて自由に選んでもらっており、平均労働時間は1日約5時間。決して高い時間給ではありませんが、常に目標を超える仕事をこなしています。

**パート社員の管理は、**

社員はICカードを持っていて出退勤は自動的に出ます。また、部署ごとに担当者がその日その日の実績を入力し、ラインごとの日次採算を出せるように自社でシステムを作りました。翌日には集計結果が分かり、各部署の責任者に伝えていきます。ただ「頑張れ」と言うのではなく、たとえ赤字のラインでも「どうやって改善するか」と意欲を持って取り組んでもらえるよう話しています。

女性のパート社員にも役職制を導入しているほか、一昨年から管理職に女性社員を登用し、6名が係長クラスに就いています。管理職の給料は年功序列制を生かしながら、成果主義を取り入れ、達成度を評価するようにしました。**スキルの維持や品質の確保は、どのように教育されているのですか。**

基本的な作業資料を整備するのはもちろんですが、大切にしているのはコミュニケーションです。日次採算でも一方的に伝えるのではなく、部署ごとにきちんと理解できるようにすることが大切だと思っています。

また、日次採算のチェックをは

じめ、品質会議、部課長会議など全ての会議はグループ全体で行っています。グループ内の意識を統一させることが目的でしたが、グループ内で異業種交流をやっているようなもので、4社あると別の見方で意見が出てきます。

コミュニケーションはタテ、ヨコともに大分良くなってきて感じています。「担当者の人柄や社内の人間関係が良く、取引したくなる会社だ」と言ってもらい、取引が始まったお客様もあります。

**1、2、3次産業を揃える一クリエートスターでの新事業とは、**

新事業として植物工場の立ち上げを考えています。6年程前から日本国内と中国での事業化を模索してきましたが、5年後、10年後の需要を見越して、東南アジアに進出しようとする昨年暮れから現地でのテスト栽培を始めました。**全くの異業種への参入ですね。**

植物工場に限らず、第一次産業から第三次産業まで多様な職種のグループにするのが目標です。

社員には仕事にやりがいを持って楽しく働いてもらいたいと願っています。グループ内で自分に適した仕事があればいいし、さらには夢を実現するため社員自ら企画し、新規事業が立ち上がるまでになって欲しいと思っています。

“実は私、居酒屋をやりたい”、

そういう人は手を挙げなさいと。

そうした意味もあり、30人近くいる係長クラス以上とは「社長と語る会」を実施して、夢を語ってもらっています。

**日頃心がけていらっしゃることは、**

「一歩下がって上に立て」を肝に念じています。常に視野を広く客観的に見て、また、一歩引いて無駄な対立を避け、物事を円滑に進めるよう心がけています。

**各所にダルマが置いてありますが、**

現在、グループ内には6つのダルマがありますが、毎年高崎の少林山達磨寺で買ってきます。元は役員全員の家族と1泊の慰安旅行で行ったのが始まりで、それぞれの子どもが大きくなった今も、日帰りで高崎に行き、役員全員で目標を祈願しています。

**今年の目標を教えてください。**

毎年のグループ・スローガンは全社員から募集します。今年度4月からは、「勇往邁進」～進化新たなる出発～としました。恐れることなく、目標、目的に向かって前進し、確実に実行・実現、更なる進化を遂げ、目標を達成するという意味合いを込めています。

ちなみに応接室に置いてある私のダルマは、売上高20億円を祈願してきました。来年は是非、目を入れて納めに行くつもりです。

### 会社概要

#### 株式会社星名産業

創業：1985年9月  
所在地：滑川市柴320-24  
資本金：1,000万円  
事業内容：電子・電装部品、食品容器  
組立・加工・検査、各種手  
作業、梱包  
従業員数：130名  
550名（ホシナグループ）  
売上高：15億円（グループ全体）  
グループ社：(株)ホシナパック、(株)ホシナ  
ハイテック、(株)クリエートスター  
URL：http://hoshina-g.co.jp/



### 略歴

1960(昭和35)年4月生まれ。滑川市出身。三晶技研、黒田電子に勤め、1980年滑川高校定時制卒業。1985年9月に独立して創業。1986年(有)星名産業設立、1994年(株)星名産業に。紙器部門を分社して1997年に(有)ホシナパックを設立、1999年(株)ホシナパックに。2009年(株)ホシナハイテックを設立。